

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切であるか		<input type="radio"/>		人員基準は満たしていますが、児童の行動面によってはもう少し必要と感ずる場面もあります
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			身体障がい入所機能を有する多機能型事業所のため、玄関からの動線やトイレ等バリアフリー化されています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			プログラム設定に加え、評価やケース会議についても全員参加で話し合いを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		第三者機関による評価は未受診ですが、相談支援事業所や行政からの見学を随時受け入れており、いただいた意見を反映するようにしています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		多機能型事業所全体として研修を行っています。児童に特化した内容の研修機会も増やせるよう検討しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		個別課題に関しては共通ツールを用いて評価を行っています。アセスメントシートの更新作業を随時行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			運動、制作、感覚遊び、音楽、外出や社会体験プログラムなど、毎週異なる設定をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			集団活動を基本としていますが、制作や社会経験など、課題の性質に応じて計画に資するための個別活動も行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		勤務時間の関係から当日中の実施が難しい場合は、翌日に実施しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			グループを分けて活動している曜日はグループ担当者にするなど、普段から一緒に活動している職員が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		これまで直接連絡をとる場面はありませんでしたが、利用面接時に主治医に関するアセスメントを行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		これまで新1年生の受け入れがありませんが、受入時には情報共有に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業前の、成人事業所も参加する個別支援会議が行われる場合には必ず参加し、情報共有を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公園など公共の場での交流はありますが、イベントとしては設けていません。アンケート結果からも要望がないため、現在予定はありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会へは施設代表が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	電話相談は随時受け付けていますが、積極的なトレーニング活動は行っていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	複数事業所を利用されている方がほとんどということから、現在まで要望をいただけないことから、保護者会等の開催は行っていません。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍のため昨年度は中止でしたが、毎年法人として招待イベントを行っています。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		多機能型事業所として事業所標準マニュアルを使用しています。改定時に児童想定の内容を追記します。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		職員は事業所全体の訓練に参加しています。児童とは、非常食の試食など、プログラムの一環として防災の取り組みを行っています。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			長期休暇中は給食提供を行っており、栄養士や厨房と連携してアレルギー対応を行っています。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				